

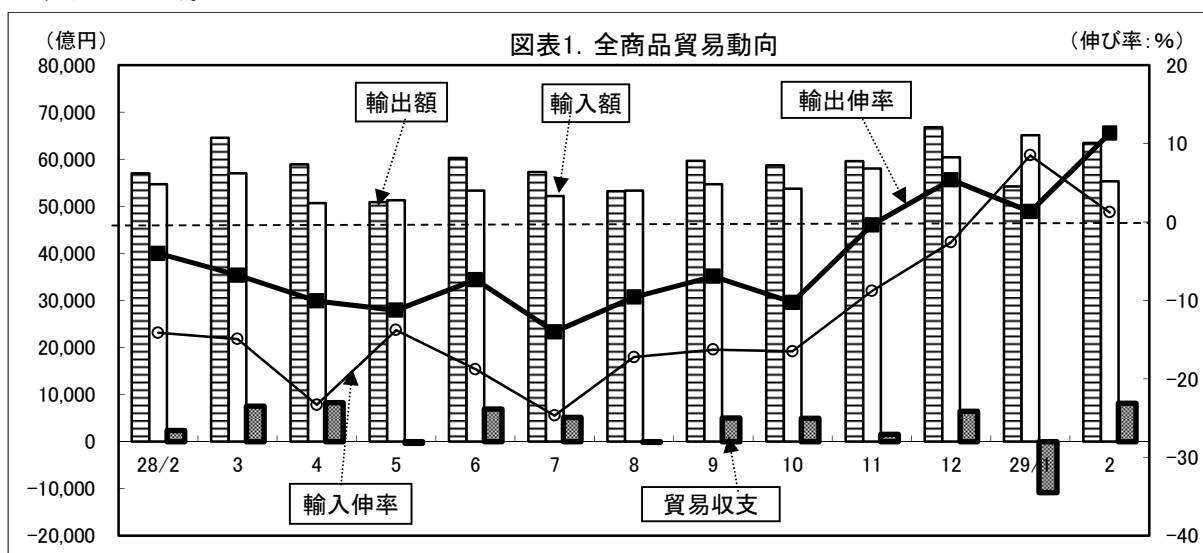
「最近の機械貿易動向(2月)～機械輸出伸び率再びプラスへ～」

日本機械輸出組合 2017.4.20.

平成29年2月の機械輸出額は4兆806億円、対前年同月比9.3%増と、再びプラスとなった。これは、①その他地域向けを除き、5地域向けがプラスとなったこと、②自動車をはじめ、主要な21輸出業種のうち16業種がプラスとなったことなどによる。為替・営業日要因が4.4%の増加寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は4.9%増となった。平成29年3月の為替・営業日要因は0.1%の増加寄与要因となっているが、4月20日発表の貿易統計速報による簡易計算では3月の機械輸出は9.8%増であった。

1. 全商品貿易動向～輸出は3ヶ月連続プラス、輸入も2ヶ月連続でプラス～

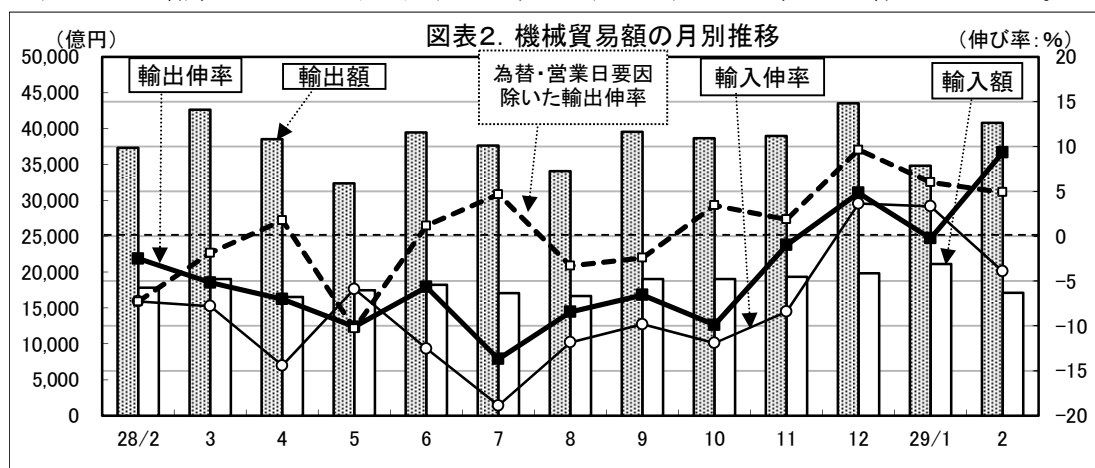
- 平成29年2月の全商品輸出額は**6兆3,475億円**、前年同月比(以下同じ)**11.3%増**と3ヶ月連続でプラスとなった(1月1.3%増)。これは、全輸出額の約23%を占める輸送用機器(0.2%減)がマイナスとなったものの、約21%を占める一般機械(16.6%増)、電気機器(13.5%増)等がプラスとなったためである。
- 輸入額は**5兆5,339億円**、**1.2%増**と2ヶ月連続でプラスとなった(1月8.5%増)。これは、全輸入額の約15%を占める電気機器(3.0%減)、一般機械(4.9%減)等がマイナスとなったものの、約25%を占める原粗油等鉱物性燃料(38.1%増)が原油価格等の上昇から2ヶ月連続でプラスとなったことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、8,135億円の黒字となった。(1月は1兆876億円の赤字)。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は再びプラス、輸入は3ヶ月ぶりにマイナス～

- 全商品輸出額の約64%を占める2月の機械輸出額は**4兆806億円**、**9.3%増**とプラスとなり(1月0.2%減)、その水準は、リーマンショック前(2008年2月)と比べると**86.0%**となって、前月に比べて6.4ポイント改善した(1月79.6%)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的な伸び率は4.9%増**であった。
- 一方、全商品輸入額の約31%を占める機械輸入額は、**1兆7,108億円**、**4.0%減**と3ヶ月ぶりにマイナスとなり(1月3.3%増)、リーマンショック前(2008年2月)の水準に比べ、15.5%増となっている。

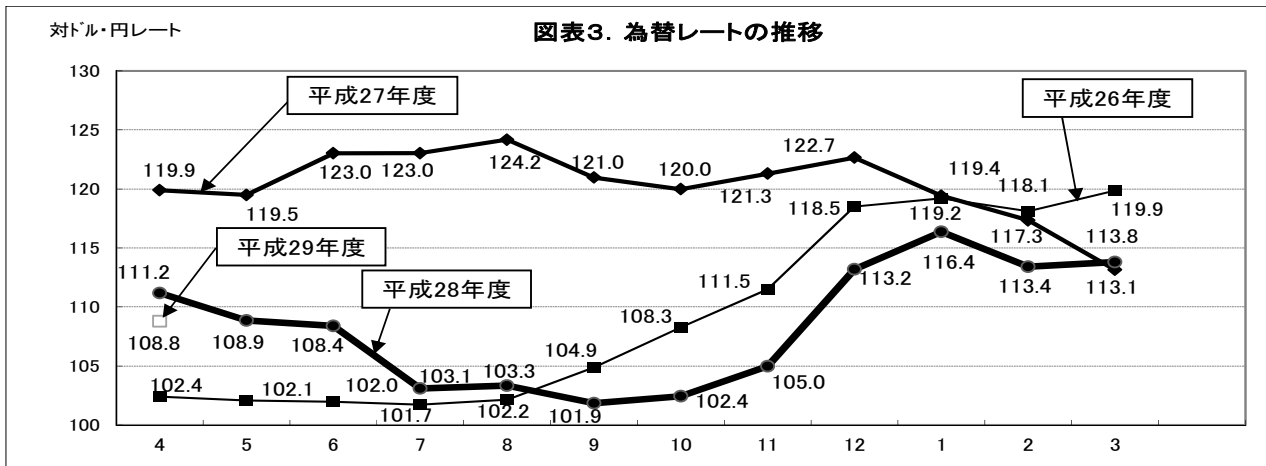


(2) 為替・営業日動向～2月は4.4%の増加要因、3月は0.1%の増加要因～

1) 2017年2月は1ドル=113.4円となり、前年に比べ3.3%の円高となった。また、対ユーロは121.5円と前年に対して6.0%の円高となり、合わせて約2.0%の為替減少要因となった。営業日は前年と同じであるが、春節の影響で中華圏の営業日は前年に比べて2日多く、約6.5%の増加要因となり、合計で約4.4%の増加要因となる。2月の輸出額は9.3%増であったことから、実質的伸び率は4.9%増と5ヶ月連続プラスとなった(1月6.0%増)。

2) 2017年3月は1ドル=113.8円で前年比0.6%の円安、対ユーロは120.6円で前年比3.7%の円高となり、合わせて約0.1%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じため、合計で約0.1%の増加要因となる。

3) 2017年4月は、対ドルが4月19日17:00時点の108.8円とすれば、前年に比べて2.2%の円高、また、対ユーロは116.7円で7.1%の円高となり、合わせると約1.5%の為替減少要因となる。営業日は前年と同じため、合計で約1.5%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～その他地域向けを除き、5地域向けがプラス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の25.4%を占める最大輸出先の北米向けでは、航空機部品(12.9%減)がマイナスとなったものの、全体の52%を占める自動車(5.0%増)や産業機械(8.5%増)等が増加し、1.5%増となった。②21.8%を占める中国向けでは、産業機械(44.8%増)、自動車(27.0%増)、電子デバイス(37.6%増)等が大幅にプラスとなって30.8%増となり、③14.5%のASEAN・南アジア向けは、マレーシア(11.1%減)がマイナスとなったものの、ベトナム(53.3%増)、インドネシア(20.2%増)、パキスタン(18.6%増)が大きくプラスとなり、業種では、全体の24%を占める自動車(3.5%減)がマイナスとなったものの、産業機械(7.2%増)、電子デバイス(11.2%増)、配電機器等軽電気機械(20.9%増)等がプラスとなり、6.4%増となった。④11.9%を占めるEU向けは、35%を占める自動車(4.1%増)、産業機械(21.8%増)等がプラスとなって2.6%増となり、⑤10.9%を占める韓国・台湾向けは、半導体製造装置等産業機械(58.1%増)、電子デバイス(5.8%増)、自動車(16.9%増)等が増加して30.5%増となった。⑥15.6%のその他地域向けでは、アフリカ(21.5%減)、中南米(15.6%減)、中近東(10.2%減)向け等がマイナスとなり、機種では、63%を占める自動車(4.2%増)がプラスとなったものの、船舶(37.9%減)、産業機械(8.6%減)等が減少して4.2%減となった。

2) また、リーマンショック前の2008年2月の地域別輸出額と比較すると、中国、ASEAN・南アジア向けが100%を超え、韓国・台湾向けが90%台、北米向けが80%台、その他地域向けが60%台、EU向けが50%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2016/12			2017/1			2017/2			対08年 2月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	43,548	4.8	100.0	34,829	▲ 0.2	100.0	40,806	9.3	100.0	0.86
北米	11,555	2.9	26.5	8,799	▲ 6.9	25.3	10,356	1.5	25.4	0.87
中国	9,854	15.6	22.6	6,650	5.2	19.1	8,878	30.8	21.8	1.13
ASEAN・南アジア	6,278	3.2	14.4	5,119	4.4	14.7	5,904	6.4	14.5	1.02
EU	5,234	▲ 2.2	12.0	4,243	▲ 5.1	12.2	4,855	2.6	11.9	0.59
韓国・台湾	4,941	28.0	11.3	3,706	12.3	10.6	4,460	30.5	10.9	0.99
その他	5,685	▲ 12.4	13.1	6,312	▲ 2.4	18.1	6,352	▲ 4.2	15.6	0.69

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

図表5. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円、%)

国名	2016/11		2016/12		2017/1		2017/2	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	2,095	25.5	2,547	33.9	2,067	34.6	2,321	29.6
台湾	1,887	0.3	2,394	22.3	1,640	▲ 7.1	2,139	31.5
ASEAN・南アジア								
タイ	1,490	▲ 6.0	1,618	▲ 1.2	1,311	▲ 0.5	1,485	1.4
シンガポール	786	▲ 3.9	972	9.7	956	20.8	882	▲ 2.0
インドネシア	640	10.4	642	1.5	613	23.1	710	20.2
マレーシア	617	4.2	685	0.2	524	▲ 7.2	598	▲ 11.1
フィリピン	613	▲ 3.4	655	9.9	517	▲ 9.2	647	8.2
ベトナム	657	4.1	757	7.7	479	0.4	763	53.3
インド	431	4.6	475	▲ 6.8	350	▲ 6.4	421	▲ 1.8
パキスタン	147	10.9	181	13.2	108	23.5	141	18.6
その他地域								
中南米	1,797	▲ 16.2	1,634	▲ 9.6	2,140	▲ 5.0	1,770	▲ 15.6
中近東	1,827	▲ 28.5	1,763	▲ 29.1	1,419	▲ 20.8	1,682	▲ 10.2
大洋州	1,018	▲ 17.3	993	3.3	1,242	9.7	1,393	16.3
ロシア東欧等	795	1.6	787	4.1	774	6.1	948	16.0
アフリカ	603	36.6	460	1.5	622	31.1	454	▲ 21.5

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～21業種中プラスは16業種。うち産業機械等9業種が二桁の増加～

- 1)業種別では、21業種中16業種がプラスとなり、前月に比べて8業種増加した。業種では、全体の約35%を占める自動車(5.8%増)がプラスとなった他、産業機械(24.8%増)、電子デバイス(16.8%増)、軽電気機械(22.3%増)等9業種が二桁増となり、機械全体で9.3%増となった。
- 2)リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、鉄道車両、軽機械、医療機械、ベアリングの5業種となった(1月は6業種)、他方、船舶が30%台、電子計算機、民生用電子機械、産業車両が40%台の低い水準にある。

図表6 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

業種名	2016/12			業種名	2017/1			業種名	2017/2			対08/2比
	金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア	
自動車	15,899	0.6	36.5	自動車	11,971	▲ 2.0	34.4	自動車	14,264	5.8	35.0	0.78
産業機械	8,097	14.0	18.6	産業機械	5,989	10.6	17.2	産業機械	8,074	24.8	19.8	0.98
電子デバイス	3,463	15.1	8.0	電子デバイス	2,900	3.3	8.3	電子デバイス	3,098	16.8	7.6	0.78
軽電気機械	2,337	10.1	5.4	船舶	2,214	▲ 1.2	6.4	軽電気機械	2,161	22.3	5.3	0.82
重電気機械	2,131	9.7	4.9	軽電気機械	1,760	2.5	5.1	重電気機械	1,948	10.3	4.8	0.89
軽機械	1,752	▲ 3.1	4.0	重電気機械	1,536	▲ 1.2	4.4	軽機械	1,606	6.3	3.9	1.12
民生用電子機械	1,604	9.6	3.7	軽機械	1,274	▲ 8.4	3.7	民生用電子機械	1,382	11.3	3.4	0.42
光学機械	1,448	4.5	3.3	民生用電子機械	1,215	▲ 2.5	3.5	光学機械	1,255	27.5	3.1	0.95
建設機械	963	7.1	2.2	光学機械	1,166	9.0	3.3	建設機械	1,127	12.6	2.8	0.58
船舶	836	18.0	1.9	建設機械	955	10.4	2.7	船舶	1,114	▲ 32.3	2.7	0.37
航空機部品	667	▲ 16.4	1.5	航空機部品	666	▲ 8.1	1.9	航空機部品	669	▲ 13.5	1.6	1.72
工作機械	663	▲ 7.0	1.5	通信機械	487	▲ 13.5	1.4	工作機械	591	▲ 10.6	1.4	0.57
通信機械	645	5.3	1.5	工作機械	448	▲ 13.7	1.3	通信機械	557	4.9	1.4	0.60
医療機械	525	▲ 4.2	1.2	医療機械	368	▲ 9.3	1.1	医療機械	484	6.8	1.2	1.08
電子計算機	459	▲ 10.9	1.1	電子計算機	361	▲ 14.1	1.0	電子計算機	451	7.3	1.1	0.42
ベアリング	415	2.3	1.0	ベアリング	333	2.7	1.0	陸用内燃機関	408	14.7	1.0	0.86
陸用内燃機関	397	9.7	0.9	陸用内燃機関	309	4.4	0.9	ベアリング	397	9.7	1.0	1.08
繊維機械	220	1.0	0.5	繊維機械	165	16.1	0.5	繊維機械	236	10.6	0.6	0.83
農業機械	197	▲ 3.2	0.5	農業機械	149	▲ 19.4	0.4	農業機械	184	▲ 13.4	0.5	0.81
鉄道車両	127	▲ 8.5	0.3	産業車両	87	▲ 12.4	0.2	鉄道車両	139	8.3	0.3	1.65
産業車両	107	▲ 17.1	0.2	鉄道車両	52	▲ 74.2	0.1	産業車両	113	▲ 2.4	0.3	0.42
21業種合計	42,952		98.6	21業種合計	34,407		98.6	21業種合計	40,258		98.7	0.78

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン

- ・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品
- ・電子計算機:パソコン、HDD、プリンター等部品
- ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器
- ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池
- ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品
- ・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信機器

(5) 機種別動向～半導体製造装置等が大幅増、船舶等が大幅減～

1) 10%以上の伸び率を示した機種のうち上位 10 機種は、①韓国・台湾、中国向け半導体製造装置(80.3%増)②韓国・台湾、北米向け電気・電子計測器(51.7%増)、③中国、北米向け産業用ロボット(51.0%増)、④ASEAN・南アジア、韓国・台湾、EU 向け原動力機械 (39.2%増)、⑤中国、韓国・台湾、北米向け電動機(35.6%増)、⑥中国向けその他の光学機器(33.9.%増)、⑦中国、ASEAN・南アジア向け金属加工機械(33.8%増)、⑧中国、ASEAN・南アジア向け配電機器(31.2%増)、⑨北米、中国、ASEAN・南アジア向け自動車部品(18.7%増)、⑩中国向け時計(18.2%増)であった。

2) 一方、船舶(32.3%減)、航空機部品(13.5%減)をはじめ、マイナス伸び率上位 5 機種すべてが二桁の減少であった。

図表7. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2016/12			2017/1			2017/2		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
半導体製造装置	2,291	56.6	半導体製造装置	1,860	62.4	半導体製造装置	2,212	80.3
配電機器	634	26.5	配電機器	451	17.3	電気・電子計測器	503	51.7
電動機	181	24.9	繊維機械	165	16.1	産業用ロボット	206	51.0
産業用ロボット	183	24.7	電気・電子計測器	374	15.9	原動力機械	576	39.2
デジタルビデオ	372	22.9	バルブ・コック	346	14.3	電動機	170	35.6
その他の配電制御装置	944	18.0	磁気カード・ディスク等	165	12.0	その他の光学機器	1,060	33.9
船舶	836	18.0	その他の光学機器	1,025	11.8	金属加工機械	314	33.8
電気・電子計測器	484	15.4	電動機	124	10.6	配電機器	520	31.2
電子デバイス	3,463	15.1	自動車部品	3,720	10.4	自動車部品	4,594	18.7
バルブ・コック	455	15.1	建設機械	955	10.4	時計	87	18.2
機種合計	9,843	* 22.6%	機種合計	9,185	* 26.4%	機種合計	10,242	* 25.1%

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

通信機械部分品:ゲートウェイ、リピーター等 受信変換・その他送受信:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器
 理化学用機器:物理・化学分析用機器の部分品、電気式分析機器等 電動機:業務用モーター
 その他の光学機器:レーザー、半導体検査装置等 その他の重電機器・部分品:重電機器部分品、交通管制用機器

図表8. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2016/12			2017/1			2017/2		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
産業車両	107	▲ 17.1	鉄道車両	52	▲ 74.2	船舶	1,114	▲ 32.3
TV	106	▲ 16.6	発電機	48	▲ 50.5	航空機部品	669	▲ 13.5
航空機部品	667	▲ 16.4	金属加工機械	163	▲ 29.8	農業機械	184	▲ 13.4
貨物自動車	748	▲ 13.2	TV	75	▲ 26.5	貨物自動車	727	▲ 13.0
時計	93	▲ 12.3	時計	63	▲ 21.6	工作機械	591	▲ 10.6
電子計算機	459	▲ 10.9	農業機械	149	▲ 19.4	機種合計	3,285	* 8.1%
磁気カード・ディスク等	164	▲ 10.0	通信機械部分品	235	▲ 17.5			
機種合計	2,344	* 5.4%	写真機の部分品・附属品	85	▲ 14.7			
			電子計算機	361	▲ 14.1			
			工作機械	448	▲ 13.7			
			機種合計	1,679	* 4.8%			

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～電子デバイス等が大きくマイナス～

1) 2月の機械輸入伸び率は4.0%減と3ヶ月ぶりのマイナスとなった。上位 12 機種のうち 10 機種がプラスとなり、そのうち電子計算機(23.7%増)をはじめ 6 機種が二桁のプラスであった。上位 12 機種のうち、マイナスとなったのは、電子デバイス(24.6%減)、乗用車(0.9%減)の 2 機種であった。

2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に電子計算機、携帯電話、航空機・部品等、医療機械、受信変換・その他送受信機器、白物家電、TV、通信機械部分品、時計の 9 機種となっている。

3) 地域別機械輸入額は、全体の 35%を占める中国(9.3%減)、ASEAN・南アジア(3.8%増)、EU(2.5%増)、北米(11.5%減)、韓国・台湾(5.6%増)、その他地域(6.6%減)の順であった。

図表9. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2016/12				2017/1				2017/2			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,246	▲ 5.7	11.3	電子デバイス	2,347	▲ 0.9	11.1	電子デバイス	1,985	▲ 24.6	11.6
電子計算機	1,983	0.8	10.0	携帯電話	2,106	▲ 0.1	10.0	電子計算機	1,760	23.7	10.3
航空機・部品等	1,475	82.1	7.4	電子計算機	2,071	7.3	9.8	携帯電話	1,010	15.7	5.9
携帯電話	1,247	22.6	6.3	自動車部品	1,260	4.1	6.0	自動車部品	937	7.3	5.5
乗用車	1,141	20.2	5.8	航空機・部品等	935	▲ 15.0	4.4	航空機・部品等	935	22.2	5.5
自動車部品	1,118	▲ 0.2	5.6	乗用車	860	▲ 14.9	4.1	乗用車	833	▲ 0.9	4.9
白物家電	697	▲ 3.7	3.5	白物家電	730	5.9	3.5	医療機械	637	3.5	3.7
医療機械	673	▲ 6.4	3.4	受信変換その他送受信	652	20.1	3.1	受信変換その他送受信	572	31.5	3.3
受信変換その他送受信	626	15.6	3.2	医療機械	626	▲ 0.3	3.0	白物家電	514	1.7	3.0
配電機器	540	▲ 2.0	2.7	配電機器	605	4.9	2.9	配電機器	468	52.4	2.7
その他の配電制御装置	407	7.5	2.1	その他の配電制御装置	443	14.8	2.1	半導体製造装置	331	4.1	1.9
コンデンサー等部分品	367	0.6	1.9	コンデンサー等部分品	413	10.2	2.0	その他の配電制御装置	328	10.2	1.9
12機種合計	12,520		63.1	12機種合計	13,048		61.8	12機種合計	10,310		60.3

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電:民生用電気機械
 ・受信変換その他送受信機器:ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等